

施策番号	15
------	----

施策評価シート（評価対象年度：令和3年度）

基本政策	3	産業・雇用
主要施策名	15	観光・交流
10年後のまちの姿	○豊かな自然や歴史・文化等を舞台に、おもてなしの心を持った市民と何度も胎内市を訪れるファン、新たな観光客との活発な交流が行われています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市内の主要な観光施設の適切な運営とともに、まちぐるみで着地型観光を推進するための合意形成に向けた支援等に取り組みます。 市民等は、地域の魅力に誇りを持ち、観光客の受入れに理解を示し、それぞれの立場からおもてなしに協力します。	
実現に向けた取組	①魅力的な観光プランの提供 ②食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大 ③施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策 ④効果的・効率的な情報発信	
施策担当課・係	商工観光課 観光振興係	
施策関係課・係	農林水産課 農村交流係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	719,602	878,666	783,858	851,528	825,149
事務事業数	22	21	21	21	21
うち、事務事業評価対象	22	21	20	17	17

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
観光入込客数〔年間〕	千人	1,106	1,048	985	1,073	835	965	1,200	1,300
農家民泊登録先の実受入実施軒数の割合〔年間〕	%	30	45	23	27	0	0	40	50
道の駅胎内（観光交流センター）の売上〔年間〕	千円	7,669	6,866	7,770	8,474	9,017	10,496	8,740	9,880
既存施設のオフシーズン活用数〔年間〕	件	1	2	4	2	2	2	3	5
観光協会ホームページビュー数〔月平均〕	千ビュー	20	20	15	20	17	18	25	30
成果指標による 現状分析	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設の利用者が大幅に減少となっているほか、四季を通して計画していた様々なイベントも中止となった。一方で、冬の観光資源である胎内スキー場は、降雪に恵まれオープンすることができ、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら営業を行い大勢の来場者でにぎわった。また、樽ヶ橋遊園のリニューアルにより大幅な集客が図られた。 ・令和3年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により農泊受け入れができなかった。ふれあいの中で学びの機会の提供や、受け入れによる喜びや感動を味わってもらうための農家民泊が、コロナウイルス感染症の不安により本来のふれあいによる交流ができない状況にある。 ・道の駅胎内の売店売上は、中間目標値比120%となり、コロナ禍でありながらも増収が図られた。 ・ホームページビュー数は、中間目標値比72%の17千ビューとなった。 								

3 施策の進捗状況

達成度	△ やや遅れている
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数はコロナ前より減少しているものの、感染対策に取り組みながら運営を行い屋外型の施設については入込が増加している施設もみられる。 ・春から夏頃までのイベント（星まつりは、会場からネット生中継で実施）は中止としたものの、その後は新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限等を行いイベントを開催した。

4 取組の状況と今後の方向性

① 魅力的な観光プランの提供

施策の内容
<p>◇市内の豊かな自然や各種観光資源、歴史・文化資源、イベント等を活用した、誘客・消費につながる季節ごと、目的別の重点モデルコースを作成し、店舗やガイド等の受入体制、情報発信も含めたパッケージ化に取り組みます。</p> <p>◇モデルコースの作成に当たっては、各種団体や市民、学生等協力者の力を借りて、街並み等の新しい魅力の掘り起こしや体験プログラムの開発を行います。</p> <p>◇胎内型ツーリズム推進協議会301人会や受入農家と協力して教育体験旅行・ふるさと体験学習等の提供を継続します。</p>
これまでの主な取組と実績
<p>【モデルコースについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的別重点モデルコースについては随時見直しを図り、市内の多種多様な観光資源をパッケージ化し、観光客のニーズ、時世に沿った魅力的な観光プランの提供に努めている。令和元年度から作成している「いろどり胎内・春夏・秋冬号」を令和3年度も2回発行した。また、各号では市内飲食店、菓子店のそれぞれの料理、お菓子等を掲載している。 <p>【体験プログラム開発について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響から、団体から個人で楽しむ観光、更にはアウトドア志向の高まりにより、豊かな自然を活かしたアウトドアアクティビティを用意した。 <p>【教育体験旅行・ふるさと体験学習について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校や専門学校等の受入について農泊を伴わない集合泊での受入れを行った。（R3 市内小学校5校、市外小学校1校、専門学校1校）
主な課題と今後の対応
<p>【モデルコースについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光誘客を促し、地域資源を活用した所得と雇用機会の確保につなげるために、策定したモデルコースをどのような情報媒体（冊子・Web・SNS）で発信するべきか更に検討が必要である。 <p>【体験プログラム開発について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発する体験プログラムについては、観光客のニーズを見極めるとともに、市内の地域資源を最大限に引き出すようなプログラムの開発に、地域住民、民間企業等と連携をさらに深めつつ、取り組む必要がある。また、新型コロナウイルス感染症に対応した三密を避けた屋外型の体験プログラムの造成を行う。 <p>【教育体験旅行・ふるさと体験学習について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内ふるさと体験学習の受入れ5校を中心に、市外、県外の小中学校の定期的な受入れ促進。受入れ民家戸数の拡充を図りながら、アフターコロナに向け感染対策の方法や魅力ある新たな体験学習の方法を検討する。

② 食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅や物産館等への誘客を図るため、観光客だけでなく地元消費者のニーズを捉えた商品開発や販売方法の見直しを行います。 ・魅力的な飲食施設やレジャー施設を発掘し、観光プランへの反映や積極的なPRを行います。 ・商業者、農業者や食品加工業者等による新たな特産品や飲食施設の展開を支援します。
これまでの主な取組と実績
<p>【道の駅等への誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅や物産館等への誘客促進として、農産物生産団体、地域おこし協力隊、個人農家などから安心・安全の農産物等の販売を行ない、市外の方のみならず、地元消費者ニーズに対しても対応した。 ・道の駅胎内においてH29からは胎内高原ビールや胎内高原ワインの販売を開始した。 ・令和元年9月、胎内市出身の声優、長谷川玲奈さんが観光PR大使に就任。道の駅内に長谷川玲奈グッズや写真を展示したコーナーを設置し、誘客促進に努めた。また、写真集が販売され、サイン会を開催した。 <p>【飲食施設等の観光プランへの反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自園産ぶどう100%の胎内高原ワインを絡め、ロイヤル胎内パークホテルでは胎内高原ワインフルコースプラン、新しく「1日1組限定の女子旅プラン（胎内高原ワインボトル1本付き）」を造成し、好評を博した。 <p>【新たな特産品開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「べにはるか」については、生産者、JA胎内、胎内市、新潟食料農業大学が共同で胎内産べにはるかのブランド化を図るため新ブランド名「はるかなた」として販売を開始した。また中条町商工会では市内小学生からアイデアを募集し市内菓子店等が商品化するスイーツフェアを毎年開催しており市もオブザーバーとして参加し特産品の推進を図っている。
主な課題と今後の対応
<p>【道の駅等への誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的に誘客促進に取り組むため、飲食・物販の核となる場の整備方針（ハード、ソフト）を定め、市内全体として更に胎内の魅力に触れる場を創出する。 ・胎内高原ワインについて需要が年々増えている反面、品切れを起こしているため、ブドウの収穫量を増やす取組が必要。また、市内の酒販店への優先的出荷や、価値を高めてくれる酒販店や消費者との取引を行い、地域の活性化やブランド価値の向上に繋げる。 <p>【飲食施設等の観光プランへの反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客のニーズを見極めるとともに、感染対策を講じた中で市内の地域資源を最大限に引き出すプラン・メニューの開発に、地域住民、民間企業等と連携をさらに深めながら、取り組む必要がある。 <p>【新たな特産品開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産品としては、米粉・ワイン・べにはるか・マコモダケ等の商品開発や加工開発をしており、今後は農業者、民間事業者、地域おこし協力隊等が連携し、新たな特産品開発が進められるよう支援する。 ・胎内産べにはるかの新ブランドはるかなたを新たな特産として推進していく。

③ 施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化対策と併せた再整備や閑散期対策を行い、施設の有効活用を図ります。運営の効率化に高い効果が期待できる場合には、指定管理者制度等の導入を検討します。 特に老朽化の進んだ施設や利用が著しく少ない施設、教育等その他の分野での活用があまり期待できない施設については、廃止や用途変更も含めて今後の活用方針を検討します。 鉄道や観光バスで地域を訪れる人のための二次交通を提供する方策を検討します。 	
これまでの主な取組と実績	
<p>【施設の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化については、辺地対策事業債を活用し、大規模改修並びに部分改修を行ない、一般財源を抑えた中での改修を進めている。（ロイヤル胎内パークホテル・胎内スキー場・クアハウスたいない・塩の湯温泉・樽ヶ橋遊園等） <p>【施設の活用方針の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用状況が少ない施設等に関しては、選択と集中のなかで方針を検討している。 胎内アウレツ館は多額の改修費が必要となること及び運営の収支状況から、令和元年度の運営を休止することとした。 <p>【二次交通の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次交通の提供に関しては、新型コロナウイルス感染症対策のため、6月から12月までの間、土日・祝日に限定して市内の行楽地を巡る無料観光バスを運行した。 	
主な課題と今後の対応	
<p>【施設の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設やエリアの魅力向上策として、新たなプログラムを作成し、閑散期やオフシーズンの活用を考え、更に強化を図る。 胎内リゾートエリアでは、生涯学習施設等と施設間の連携強化も進めていく。 <p>【二次交通の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二次交通の提供に関しては、令和4年度も引き続き運行する。 <p>【施設の活用方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 胎内アウレツ館の廃止の方策について継続的に検討する。 	

④ 効果的・効率的な情報発信

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> 観光拠点やその周辺の環境整備や景観整備、デザイン性の高いサインの設置等、地域の魅力向上につながる方策を検討します。 観光協会をはじめとする関係団体と協力して各種メディアへの働きかけやSNSの活用等を強化し、胎内市の観光情報を積極的に発信するほか、新発田市、聖籠町等の近隣の自治体や観光地と連携して情報発信や集客の強化を図ります。 単独の宿泊施設や事業者では難しい企画や営業を進めていくために、関係者の交流の場や専門性を持ったDMO等の組織の設立を検討します。 	
これまでの主な取組と実績	
<p>【観光の環境整備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光サインの整備については、観光拠点を中心とした整備計画のもと、サインマスタープランのとおり計画的に更新している。その他場所によっては老朽化により撤去を実施。 <p>【観光情報の発信等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報の発信については、商工観光課フェイスブック、樽ヶ橋遊園ブログ、インスタグラムなどSNSを活用して観光情報を発信するとともに、胎内市観光協会のホームページ、ブログ、フェイスブックなどの活用に関しても、連携を図り情報発信を依頼している。令和2年度には樽ヶ橋遊園のインスタグラム、ツイッターを開設した。 	
主な課題と今後の対応	
<p>【観光の環境整備等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光サインの整備については、胎内市観光サインマスタープランに基づき、財政状況を考慮し優先順位のもと計画的に改修を行なう。 <p>【観光情報の発信等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報の発信については、これまでと同様に、胎内市観光協会とも連携を図りSNS等を活用して行っていく。 また、キノトラベルやNPOヨリシロなどの市内の観光・まちづくりに関係する民間団体とも連携を図り、情報発信を行う。 阿賀北9市町村（新発田市・村上市・阿賀野市・胎内市・五泉市・聖籠町・関川村・粟島浦村・阿賀町）による、広域的な連携のなかで、観光振興が図られる取り組みを行う。 	

5 施策の今後の方針

施策方針	◎ 拡充
施策方針に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら地域の観光資源を生かした体験プラン等を観光振興推進サポーターを主として市、関係団体等と造成をし観光交流人口の拡大を図る。 「オールシーズン胎内」の核となるロイヤル胎内パークホテルの入り込みを図る取り組みとして、新潟市内、近県、首都圏などをターゲットにした誘客促進を図る。また、冬季間のレジャー施設であるスキー場以外のアクティビティ（体験プログラムなど）を充実させ魅力ある冬の胎内をPRする。 「米粉のまち」として、飲食店・菓子店等にある米粉商品を市内外に向けPRする。 新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら定住自立圏広域観光推進協議会において、新発田市・聖籠町と連携をしながら地域の活性化に繋がる取り組みを進める。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R3 事業費	R4		達成度	施策目標 に対する 貢献	今後の 方向性	主な事業	担当課	
			うち 一般財源	当初予算額						うち 一般財源
330110	チューリップフェスティバル事業	3,549	3,189	2,976	2,976	△	○	③		農林水産課
330111	フルーツパーク運営事業	10,256	9,680	10,258	9,654	△	○	③		農林水産課
330112	フラワーパーク運営事業	5,654	5,360	5,743	5,350	○	○	③		農林水産課
330114	胎内型ツーリズム推進事業	879	879	1,101	1,101	×	△	③		農林水産課
330120	避難小屋・登山道関連事業	8,117	5,199	9,341	6,436	◎	○	③		商工観光課
330210	農業まつり事業	0	0	577	577	—	○	③		農林水産課
330310	塩の湯施設管理事業	167,777	13,332	8,735	6,896	△	○	③	○	商工観光課
330311	海水浴場管理運営事業	1,791	1,674	2,573	2,456	△	○	③		商工観光課
330312	はまなすの丘維持管理事業	1,625	1,518	1,622	1,516	○	○	③		商工観光課
330313	観光物産館管理事業	6,423	6,396	4,272	4,246	△	○	③		商工観光課
330316	ロイヤル胎内パークホテル運営事業	239,164	91,408	182,847	79,716	△	○	②	○	商工観光課
330317	奥胎内ヒュッテ管理事業	2,263	2,253	3,508	3,498	△	○	②		商工観光課
330318	クアハウスたいない管理事業	45,651	45,609	41,785	38,732	△	○	⑤		商工観光課
330319	樽ヶ橋遊園運営事業	169,557	△ 8,647	54,179	0	◎	○	③	○	商工観光課
330320	胎内スキー場管理事業	90,022	23,050	184,035	17,006	◎	○	③	○	商工観光課
330322	観光交流センター運営事業	11,500	11,500	45,362	11,827	○	○	②		商工観光課
330410	観光振興事業	51,219	37,047	43,329	43,320	△	○	③	○	商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330110		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者			
事務事業名	チューリップフェスティバル事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流		中	01	魅力的な観光プランの提供		項	01	農業費
				小	10	チューリップフェスティバル事業		目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連例規	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市及びチューリップフェスティバル実行委員会が主催となり、観光と農業を結びつけたイベントを開催し、市産チューリップの振興と地域の活性化を図る。
主な実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場内飲食の禁止、マスク着用の義務など制限をしての開催。 ○オープニングイベント ○チューリップウエディング ○イベント広場でパフォーマンス（雨のため中止） ○チューリップ写真コンテスト
実施方法	市が直接実施＋委託＋補助・負担

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	5,104	5,070	2,799	2,447	3,549	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	360	
一般財源	5,104	5,070	2,799	2,447	3,189	
人件費（千円）	626	634	351	351	351	
正（h）※事業費	185	185	185	185	185	
会計年度任用（h）※事業費	342	342	0	0	0	
総事業費＋人件費	5,730	5,704	3,150	2,798	3,900	
財源「その他」内訳	チューリップフェスティバル実行委員会からの負担金360千円					
事業費の主な支出内容	職員手当477千円、印刷製本費160千円、栽培管理委託料2,079千円					
単位コスト	算出方法	総事業費/入場者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		80	110	41	0	102

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開催日数	開催日数	市内事業者出店数	市内事業者出店数	市内事業者出店数
	目標	14日間	14日間	9事業者	10事業者	11事業者
	実績	14日間	11日間	6事業者	0事業者	2事業者
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	60,000人	60,000人	60,000人	60,000人	60,000人
	実績	63,898人	46,434人	68,501人	0人	31,277人
	目標比	106.0%	77.3%	114.0%	0.0%	52.0%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	△	◎	-	△
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない コロナの影響もあったが期間中雨天が多かった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

【H31～】	市予算から実行委員会会計への一部予算移行を行い経費削減を図った。
【R2】	コロナのため開催中止となった。
【R3】	入場時チラシ配布を取りやめ人件費削減を行う。

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	実行委員会で運営しているため不可。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場周りを舗装し来場者の歩きやすい会場とする。 ・チューリップウエディング開催方法の見直し。 ・写真コンテスト入賞者数、賞金額・賞状形態の見直し。 ・出店場所、方法の見直し。 ・PRの強化

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	③	③	③	③
<ul style="list-style-type: none"> ・フェスティバル期間に行う各種イベント・出店について再考する。 ・SNSなどを利用し市外からの誘客を図る。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330111		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者			
事務事業名	フルーツパーク運営事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	予算科目	款	06	農林水産業費	
主要施策	15	観光・交流		中	01		魅力的な観光プランの提供	項	01	農業費
				小	11		フルーツパーク運営事業	目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			任意	関連例規	胎内市フルーツパーク条例	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	やすらぎのある憩いの場の整備によって、都市農村交流の拡大及び果樹の振興と活性化を図るため、フルーツパークを設置する。令和元年度よりワイン加工用ブドウの植栽を始めている。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 果樹栽培の計画見直し 施設の維持管理、生産物の販売
実施方法	委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	11,507	11,508	10,008	10,398	10,256	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	2,240	454	349	391	576	
一般財源	9,267	11,054	9,659	10,007	9,680	
人件費（千円）	0	0	0	0	0	
正（h）※事業費	0	0	0	0	0	
会計年度任用（h）※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	11,507	11,508	10,008	10,398	10,256	
財源「その他」内訳	フルーツパーク生産物販売収入 576千円					
事業費の主な支出内容	火災保険料7千円 修繕費249千円 管理委託料10,000千円					
単位コスト	算出方法	総事業費における収穫量1kg当たりの経費 総事業費/収穫量				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		5.6	21.6	25.7	20.0	11.0

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	栽培本数	栽培本数	栽培本数
	目標	150日	150日	500本	750本	1,000本
	実績	153日	153日	743本	723本	714本
成果指標	名称	入園来場者数	入園来場者数	収穫量	収穫量	収穫量
	目標	1,300人	1,300人	970kg	950kg	1,000kg
	実績	1,021人	40人	390kg	520kg	932kg
	目標比	78.5%	3.1%	40.2%	54.7%	93.2%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	×	×	△	△
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	気候及び鳥獣被害等の影響で安定生産が図れないことなどから、園内ほ場の果樹栽培計画の見直しを行った。生食ブドウ等のもぎとり体験は平成30年度で一旦休止し、令和元年度からは、一部ワイン加工用ブドウを植栽している。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

・H29	園内の果樹栽培計画を見直し（ワイン増産へ） ワイン加工用ブドウ200本植栽
・H30	生食ブドウ等の販売事業の一時休止
・R1	ワイン加工用ブドウ226本植栽

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	協働の可能性、あり方を検討していく。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 園内のほ場は、実証ほ場として整備されたことから約0.5haであるため、多くの加工用ブドウの収穫は望めない。また、地域特有の風や長雨・豪雨の影響による病気対策を踏まえた栽培方法や品種を検討する必要がある。 栽培のみならず、都市農村交流の取組の推進が期待される。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	③	③	③	③
胎内高原ワインは、原材料である加工用ブドウがすべて市内産であること、また、栽培・醸造・瓶詰めまで、品質に対するこだわりが貫かれているなどが評価され、日本ワインコンクールで金賞を受賞するなどの魅力を持つ。当施設では、加工用ブドウの収穫にとどまらず、胎内高原ワインと地元産の食材との調和（マリァージュ）と、何度でも訪れたいくなる豊かな自然風土の環境形成（テロワール）の両立により、地域のブランド化を強固にする取組や、魅力を発信する取組などを進めていきたい。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330112		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者				
事務事業名	フラワーパーク運営事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	06	農林水産業費	
主要施策	15	観光・交流		中	01	魅力的な観光プランの提供		項	01	農業費	
				小	12	フラワーパーク運営事業		目	06	フラワーパーク費	
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画				

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内リゾートエリア内にある施設であることから周辺観光施設と連携し、市民へのやすらぎある憩い場の提供、観光交流人口の拡大及び園芸の振興の地域活性化を図る。
主な実施内容	ロイヤル胎内パークホテル及び周辺観光施設と連携し誘客を図った。 春から秋にかけての草花や草木を植栽しているほか、芝広場や東屋の設置により様々な年齢層の人々が憩える空間を作っている。 ボランティアを受入れし、園内整備を行い、経費削減を図った。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	13,432	12,819	4,934	5,221	5,654	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	649	1,190	885	428	294	
一般財源	12,783	11,629	4,049	4,793	5,360	
人件費（千円）	3,866	371	380	569	569	
正(h)	2,100	200	200	300	300	
※事業費 ※任用(h)	○	6,451	6,451	1,757	1,757	
※事業費 ※任用(h)	○	6,451	1,757	1,757	1,881	
総事業費+人件費	17,298	13,190	5,314	5,790	6,223	
財源「その他」内訳	人工培養施設使用者負担134千円、鹿ノ俣線入金160千円					
事業費の主な支出内容	給料1,881千円 需用費1,041千円 委託料744千円 原材料費1,159千円					
単位コスト	算出方法	(総事業費+人件費-工事費) / 入園者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		5,104円	5,735円	2,310円	2,869円	1,557円

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	188日	188日	188日	188日	188日
	実績	191日	190日	190日	189日	186日
成果指標	名称	入園来場者数	入園来場者数	入園来場者数	入園来場者数	入園来場者数
	目標	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人	4,000人
	実績	3,389人	2,300人	2,300人	2,018人	3,805人
	目標比	84.7%	57.5%	57.5%	50.0%	95.1%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	△	△	△	○
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	成果指数の達成状況等による				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

【H30】 施設管理職員1名を臨時職員に変更し経費削減を図った。 【R1】 入園料を無料化して公園的な管理とし、臨時職員の人員削減、シルバー人材の活用及びボランティアの協力により管理経費を削減した。 【R2】 円滑な公園管理をすべく常勤の職員を配置し作業の効率化を図った。 【R3】 植栽の苗の種類を絞るべく手間のかからない品種で経費の削減を図る。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	不定期ではあるが、ボランティアスタッフが来ている。

7 事業の課題

限られた予算の中で維持管理していくには、ボランティアスタッフの拡充が必要と考えているが、あくまでもボランティアなので、こちらの意図するタイミングでの活動ができないのが現状である。入園料を徴収しない施設にあっては、予算の増額も厳しいのは承知しているが、植栽の時期にはシルバー人材を活用しているものの、園の維持管理の状況を見ればシーズンを通して定期的に活用が必要である。（施設職員は花壇の草取りで手一杯、園内の草刈り等については、定期的に農水係職員が行っている状況。）
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑥	③	③	③	③
市報・SNSなどでボランティアの活動を紹介し広く市民に認知してもらう。近隣リゾート施設との連携を図り集客に努める。 楽しみながら活動できるようなボランティア作業内容を検討する。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330114		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者			
事務事業名	胎内型ツーリズム推進事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	31	農業振興	予算科目	款	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流		中	04	条件不利地域における農業生産の継続支援		項	01	農業費
				小	11	胎内型ツーリズム推進事業		目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連例規	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	都市住民に自然や農業体験の場を提供することを通じて、農家・地域住民の生きがいを創出するとともに地域農業の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと体験学習および体験教育旅行の受入 県内等小・中・高・専門学生の体験教育旅行の誘致 着地型企画の造成及び日帰り型体験活動の利用促進
実施方法	その他

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	1,212	1,118	888	863	879	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	1,212	1,118	888	863	879	
人件費（千円）	3,682	3,712	3,798	3,790	3,790	
正（h）※事業費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
※事業任用（h）※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	4,894	4,830	4,686	4,653	4,669	
財源「その他」内訳	301人会員負担金 500千円 職員手当等 72千円					
事業費の主な支出内容						
単位コスト	算出方法	(総事業費＋人件費) / 述べ体験者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		4,481円	4,476円	6,054円	8,022円	7,139円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	受入数（校） ①市内小学校 ②市外小学校 ③首都圏中学	受入数（校） ①市内小学校 ②市外小学校 ③首都圏中学	受入数（校） ①市内小学校 ②市外小学校 ③首都圏中学	受入数（校） ①市内小学校 ②市外小学校 ③首都圏中学	受入数（校） ①市内小学校 ②市外小学校 ③首都圏中学
	目標	①5校 ②4校 ③1校	①5校 ②4校 ③1校	①5校 ②5校 ③1校	①5校 ②5校 ③1校	①5校 ②5校 ③1校
	実績	①5校 ②4校 ③1校	①5校 ②4校 ③0校	①5校 ②3校 ③0校	①5校 ②2校 ③0校	①5校 ②2校 ③0校
成果指標	名称	農泊受入先の受入軒数の割合の向上	農泊受入先の受入軒数の割合の向上	農泊受入先の受入軒数の割合の向上	農泊受入先の受入軒数の割合の向上	農泊受入先の受入軒数の割合の向上
	目標	35%	37%	38%	40%	40%
	実績	45%	23%	24%	0%	0%
	目標比	128.0%	62.1%	63.1%	0.0%	0.0%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	○	○	×	×
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 新型コロナウイルス感染症の影響から、市内小学校及び県内の学校等の限定的活動となった。また令和3年度も農泊受入ができなかったことから達成度は×とした。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 首都圏中学校の農泊受入による新規農泊受入先及び休止中の世帯の受入掘り起こしにより、新規登録に成功した。 観光ボランティアガイド等地域の先生の積極的な活用。 ネイチャーガイド養成勉強会等を実施し担い手の育成。 R2年度の301人会員負担金を減額した（600千円→500千円） 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から農泊の中止。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	体験に必要な講師等、市内の事業者の方をお願いし実施している。

7 事業の課題

活動拠点であった胎内アウレツ館の休止による活動場所の確保の問題や、新型コロナウイルスの影響により、直近3年間は農泊の受入れを中止しており、今後の事業継続にあたり農泊の受入れについては、送り手側の学校、受け手側の農家、双方についても非常に難しい状況である。特に受入農家については、高齢化や受入軒数の不足による負担増、コロナウイルス等の複数要因が重なっており農泊については、十分な検討が必要である。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	③	③	③	③
・新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、学校・団体の農泊・体験活動が中止や延期になった。県や旅行業者と連携し、日帰りを中心とした体験活動を提供し送り手側、受け手側双方が安心して事業を行えるようにする。 ・現状の農家民泊の劇的な増加は困難なことから、新潟県少年自然の家や市内の宿泊施設と連携し農業体験等の提供も検討する。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
コスト投入の方向性	削減	×	×	×	×
	維持	×	×	×	×
	拡大	×	×	×	×

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330120		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	避難小屋・登山道関連事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	01	魅力的な観光プランの提供	項	01	商工費
				小	20	避難小屋・登山道関連事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			任意		関連規程	関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	登山者の安全と利便を図るため、避難小屋及び登山道の整備、管理を行い、飯豊連峰、楡形山脈の魅力を発信する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 飯豊連峰、楡形山脈の登山道の草刈等維持管理 門内岳・頼母木避難小屋の維持管理
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	5,357	7,368	7,346	8,424	8,117	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	3	1,376	1,943	2,085	2,918	
一般財源	5,354	5,992	5,403	6,339	5,199	
人件費（千円）	514	520	532	531	531	
正(h) ※事業費	279	280	280	280	280	
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	5,871	7,888	7,878	8,955	8,648	
財源「その他」内訳	寄付金1,972千円、負担金900千円、避難小屋売店収入46千円					
事業費の主な支出内容	委託料5,693千円 需用費901千円 使用料及び賃借料884千円					
単位コスト	算出方法	総事業費／登山者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		690円	528円	545円	706円	662円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	①飯豊連峰登山道維持管理期間 ②各避難小屋常駐管理期間				
	目標	①209日間 ②62日間	①209日間 ②62日間	①209日間 ②78日間	①209日間 ②78日間	①209日間 ②78日間
	実績	①209日間 ②62日間	①209日間 ②62日間	①208日間 ②57日間	①209日間 ②73日間	①209日間 ②84日間
成果指標	名称	①楡形山脈登山者数 ②飯豊連峰登山者数				
	目標	①9,042人 ②2,222人	①9,042人 ②2,222人	①9,042人 ②2,222人	①9,042人 ②2,222人	①9,042人 ②2,222人
	実績	①6,970人 ②790人	①9,600人 ②4,330人	①10,010人 ②3,450人	①8,900人 ②3,030人	①9,100人 ②3,970人
	目標比	①77% ②35%	①106% ②195%	①110% ②155%	①98% ②136%	①101% ②179%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	×	◎	◎	○	◎
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない コロナ禍の中、目標値をクリアしている。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

【H30】
飯豊連峰避難小屋（門内、頼母木）の窓枠及び壁補修等を行った。
新たな観光スポットとして奥胎内のブナ巨樹エリアの歩道整備及び周辺の環境整備を行った。

【R2】
奥胎内にある鍋倉山の登山道整備を行った。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	ボランティアによる、楡形山脈登山道の整備

7 事業の課題

避難小屋、登山道維持管理業務先の山の会等のメンバーの高齢化と後継者不足が課題と考える。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
貴重な自然が手つかずで残る飯豊連峰や日本一小さい山脈である楡形山脈の環境を維持していくことは、現在を生きる我々だけではなく、後世へ受け継ぐべき重要なことである。登山者の安全確保、利便性も合わせ、維持管理業務は不可欠である。そのため、H23年度より飯豊連峰の避難小屋管理及び登山道整備等を飯豊・胎内の会に委託し、今後さらに行き届いた管理整備ができるよう推進していく。山の会等の関係者との連携を密にし、管理していくことが重要である。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①	
	維持	×	⑤	③	×	
	縮小	×	⑥	×	×	
	休廃止	⑦	×	×	×	
		削減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330210		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者		
事務事業名	農業まつり事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流		中	02	※、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大	項	01	農業費
				小	10	農業まつり事業	目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			任意		関連例規	関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域の特性を活かした農産物、加工品等を販売するイベントを開催し、市民への周知と消費拡大により地域活性化を図る。
主な実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	461	439	473	0	0	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	461	439	473	0	0	
人件費（千円）	736	742	760	0	0	
正（h）※事業費	400	400	400	0	0	
※事業費 ※事業 任用（h）	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	1,197	1,181	1,233	0	0	
財源「その他」内訳						
事業費の主な支出内容						
単位コスト	算出方法	総事業費/入場者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		220	126	95	0	0

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開催日数	開催日数	開催日数	開催日数	開催日数
	目標	1日	1日	1日	1日	1日
	実績	1日	1日	1日	0日	0日
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	6,000人	6,000人	6,000人	6,000人	6,000人
	実績	2,100人	3,500人	5,000人	0人	0人
	目標比	35.0%	58.0%	83.0%	0.0%	0.0%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	×	△	○	-	-
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止したため。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

【R1】	やらにゃんドームを設置し誘客を図ったが強風のため、設置を見送る。
【R2】	開催無し
【R3】	開催無し

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	企画運営の主体は中条町商工会で行っている。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 他課（商工観光課）でのイベントである黒川産業まつりとの開催方法について 今後調整が必要。 農産物の出店販売がほとんどなく、出店も飲食店がほとんどのことから全体の事業内容について検討が必要。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
開催場所について現状ではプレスポ以外に考えられないが、アリーナを利用することが出来ないため、雨天時の対応なども含め全体的な検討が必要。JAが別会場で開催しており特産品の販売もない中農業まつりの必要な要素が薄れてきている。今後実行委員会の設置も検討しており産業的な分野も取り入れていけるか検討する。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330310		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者	
事務事業名	塩の湯施設管理事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大 33	観光・交流	款	03
主要施策	15	観光・交流		事業コード	中 03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項	01
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令		目	03
	法令による義務付け		任意		関連例規	サンセット中条条例、高齢者健康増進ふれあい施設条例	関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理制度により塩の湯温泉施設の管理運営を行い、健康増進と寄りあいの場を提供する。
主な実施内容	塩の湯温泉施設の運営・管理を行う。 平成17年度より指定管理者制度に移行 ・村松浜高齢者健康増進ふれあい施設 ・サンセット中条
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	33,232	32,723	10,161	28,111	167,777
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	20,100	22,400	0	7,600	153,100
その他	1,809	1,856	1,882	3,250	1,345
一般財源	11,323	8,467	8,279	17,261	13,332
人件費（千円）	442	408	418	417	417
正（h）※事業費	240	220	220	220	220
会計年度任用（h）※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	33,674	33,131	10,579	28,528	168,194
財源「その他」内訳	敷地使用料、給湯業務等受託収入				
事業費の主な支出内容	修繕費、委託料、借地料				
単位コスト	算出方法 総事業費／年間利用者数 ※工事費を除く				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	137円	103円	101円	201円	153円

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	343日	343日	343日	344日	344日
	実績	344日	343日	344日	319日	258日
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	101,000人	103,020人	103,200人	105,200人	105,200人
	実績	95,565人	99,595人	100,160人	67,910人	69,879人
	目標比	94.6%	96.6%	97.0%	64.5%	66.4%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	△	△
評価の理由	コロナ禍や大規模改修に伴う閉館も影響し、目標とする入館者数には達しなかった。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

【H30】	辺地対策事業債を活用した工事（サンセット中条空調設備改修工事、温泉供給管布設替工事）
【R2】	指定管理者の変更 辺地対策事業債を活用した工事（塩の湯温泉施設改修工事設計業務委託）
【R3】	辺地対策事業債を活用した工事（ふれあい館改修工事、サンセット中条機械設備工事）

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	株J. SECURITYIによる指定管理を行っているため。

7 事業の課題

指定管理者制度を有効に活用し引き続き利用者数の増加策を講じていくとともに、エネルギー価格高騰の状況により料金改定を検討していく。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
新型コロナウイルス感染拡大や大規模改修工事に伴う閉館により目標とする利用者数を維持又は増加させることは令和2年度に引き続き非常に厳しい状態であったと考えられるが、そのような状況でも指定管理者は集客努力を重ねるとともに経費の削減に注力し損失が最小限となるよう尽力していただいた。施設改修工事も完了し、新しい生活様式でのウィズコロナも浸透してきていることから、今後はより一層の効率的な管理運営が期待できる。また、エネルギー価格高騰の状況により適正な料金改定も検討していく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330311		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	海水浴場管理運営事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項	01	商工費
				小	11	海水浴場管理運営事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			任意		関連法規		関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市内はもとより市外からの観光誘客を図るために、村松浜に海水浴場を設置し、海水浴場開設期間中、場内の安全と衛生を保つ。
主な実施内容	海岸に安全を確保できる範囲・深さの区画を指定し、夏期の一定期間、海水浴場として開放し安全管理と運営を行う。
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	1,784	2,062	2,551	3,379	1,791	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	117	117	117	117	117	
一般財源	1,667	1,945	2,434	3,262	1,674	
人件費（千円）	214	56	95	57	95	
正（h）※事業費	116	30	50	30	50	
※事業任用（h）※事業費	467	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	1,998	2,118	2,646	3,436	1,886	
財源「その他」内訳	旧村松浜小グラウンド使用料117千円					
事業費の主な支出内容	委託料1,556千円 光熱水費108千円					
単位コスト	算出方法	総事業費／来場者数 ※工事費は除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		456円	511円	812円	1,508円	831円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開設期間	開設期間	開設期間	開設期間	開設期間
	目標	33日間	34日間	35日間	35日間	35日間
	実績	34日間	35日間	36日間	38日間	24日間
成果指標	名称	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数
	目標	5,790人	5,890人	5,990人	5,990人	5,990人
	実績	3,910人	4,030人	3,140人	1,380人	2,250人
	目標比	67.5%	68.5%	52.4%	23.0%	37.6%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	△	△	△
評価の理由	開設期間中の天候が不安定であり、中止せざるを得ない日が多くなったこと、またコロナ渦により集客が難しい状況があり、入込数が目標値より下回ったため。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

【H29】	海水浴場の誘客を図るため、国道からの入口付近にのぼり旗を設置した。
-------	-----------------------------------

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	築地小・中学校生徒及び地域住民による海岸清掃ボランティア

7 事業の課題

地元集落の協力のもと、監視員を確保しているものの従事者の高齢化及び人員不足が深刻である。事故発生時は迅速な対応が求められるため、従事者の若手登用は急務である。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
来場者数については、開設期間の天候状況により変動するものの年々減少傾向であり今後の事業の在り方について検討が必要である。例年2～3回実施される釣り大会において協力金を徴収するルール作りを行うなど新たな視点で検討する。					

9 二次評価委員会所見

監視員の確保等、今後の事業の在り方について検討していく必要がある。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	×	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330312		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者			
事務事業名	はまなすの丘維持管理事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
				小	12	はまなすの丘維持管理事業		目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			任意	関連法規				関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	昭和59年に新潟県が指定した桃崎浜自然環境保全地域の、学術的にも貴重なハマナスなどの海岸植物の群生地を、来場者に親しんでいただける環境を整備し、誘客を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び周辺の維持管理 公衆トイレや浄化槽の清掃 施設の修繕
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	4,033	11,080	1,850	1,575	1,625	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	9,500	0	0	0	
その他	72	87	93	102	107	
一般財源	3,961	1,493	1,757	1,473	1,518	
人件費（千円）	144	93	95	95	95	
正（h）※事業費	78	50	50	50	50	
会計年度任用（h）※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	4,177	11,173	1,945	1,670	1,720	
財源「その他」内訳	自動販売機収入97千円、敷地使用料10千円					
事業費の主な支出内容	管理委託料1,170千円、用地借地料235千円、光熱水費170千円					
単位コスト	算出方法	総事業費／来場者数 ※工事関係費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		13円	17円	18円	15円	16円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	開設日数	開設日数	開設日数	開設日数	
	目標	365日	365日	366日	365日	365日
	実績	365日	365日	366日	365日	365日
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数	来場者数
	目標	119,240人	119,740人	120,240人	119,740人	119,740人
	実績	111,700人	89,350人	99,280人	103,310人	100,610人
	目標比	93.7%	74.6%	82.6%	86.3%	84.0%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	△	○	○	○
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標の達成状況による				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H30]	東屋周辺の園路舗装工事を実施
[R1]	公衆トイレの修繕を実施
[R2]	公衆トイレの修繕を実施
[R3]	施設周辺のロープ杭修繕を実施

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	・地域と連携してはまなすの丘の管理を実施。

7 事業の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> 砂丘植生が減少傾向にある。 立地条件により施設の劣化が早く、事業継続には多くの修繕費を要する。
----	--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な自然環境を保全し、今後も維持・管理していかなければならない。 砂丘植生が一部退化している状況であり、自然保護審議会委員からの意見・指導により景観づくりに努める。 				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	削減	縮小	維持	拡大
		④	②	①	⑤	③	⑥	⑦	
		○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○	○
	コスト投入の方向性								

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330313		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	観光物産館管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項	01	商工費
				小	13	観光物産館管理事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			任意	関連例規	きのと観光物産館条例		関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理制度によりきのと観光物産館の利用者に観光情報および食事・休憩スペースを提供することで、地域の観光振興と活性化を図る拠点として整備する。
主な実施内容	きのと観光物産館に観光情報コーナーや食事・休憩スペースを整備し、施設の維持管理を行う。
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	4,639	9,143	3,795	7,969	6,423	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	4,000	0	0	0	
その他	27	27	27	27	27	
一般財源	4,612	5,116	3,768	7,942	6,396	
人件費（千円）	427	408	418	417	417	
正（h）※事業費	232	220	220	220	220	
※事業費 ※事業費 任用（h）	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	5,066	9,551	4,213	8,386	6,840	
財源「その他」内訳	敷地使用料27千円					
事業費の主な支出内容	委託料4,684千円 工事請負費1,430千円 修繕費252千円					
単位コスト	算出方法	総事業費／入込人数 ※工事費は除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		191円	219円	172円	366円	411円

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数	開館日数
	目標	313日間	313日間	313日間	313日間	313日間
	実績	310日間	310日間	310日間	309日間	309日間
成果指標	名称	入込人数	入込人数	入込人数	入込人数	入込人数
	目標	36,750人	37,050人	37,350人	37,350人	37,350人
	実績	24,260人	23,386人	21,955人	15,360人	15,220人
	目標比	66.0%	63.1%	58.7%	41.1%	35.2%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	△	△	△
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 入込数の大半が食堂部門であり、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなり、目標値を大きく下回ったため。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

平成29年度より指定管理委託を行っている。
【R2】
宴会スペース床下改修工事を実施した。

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	協議による指定管理を行っているため。

7 事業の課題

コロナ禍により、飲食業界が苦しい中で入込数を増やしていく方を指定管理者と検討していく。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少しそれにより売上も落ち込んでいる。そのため、コスト削減等の取り組みも必要である。施設の維持管理については乙地区の団体と委託契約を交わしており、今後も継続していく方向である。当施設は乙地区で唯一のお食事処として親しまれており、重要な施設であるため修繕等を計画的に行い維持していく方向である。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330316		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	ロイヤル胎内パークホテル運営事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項	01	商工費
				小	16	ロイヤル胎内パークホテル運営事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			任意	関連例規	胎内市交流促進施設条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市の観光拠点となるロイヤル胎内パークホテルを管理し、宿泊・温泉・食事等の施設サービスを提供するとともに、市民に地域活動への積極的な参加を促し、都市との交流や各種の活動を通じて創意と工夫に基づく地域活動を推進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイヤル胎内パークホテルの管理 ・平成22年度より指定管理者制度を導入しており、現在は胎内リゾートに運営を委託（令和2年度から2年間）
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	249,038	114,570	196,827	131,077	239,164	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	171,900	31,200	83,600	6,900	129,000	
その他	2,371	2,469	5,556	41,540	18,756	
一般財源	74,767	80,901	107,671	82,637	91,408	
人件費（千円）	447	445	456	455	455	
正（h）※事業費	240	240	240	240	240	
※事業任用（h）※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	249,485	115,015	197,283	131,532	239,619	
財源「その他」内訳	辺地対策事業債129,000千円、光熱水費負担金18,438千円、基金繰入金200千円					
事業費の主な支出内容	施設改修工事費141,275千円、施設管理運営委託料63,800千円、光熱水費18,426千円、ホイールローダーリース料4,054千円、工事監理業務委託料4,048千円、ホテル総合情報システム賃借料2,502千円、自動車リース料1,782千円、調理用備品1,738千円					
単位コスト	算出方法	総事業費／利用者数 ※工事関係費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		1,011円	951円	8,937円	11,348円	8,852円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	365日	365日	366日	365日	365日
	実績	365日	365日	366日	334日	365日
成果指標	名称	利用者数	利用者数	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数
	目標	68,000人	69,000人	13,100人	14,200人	14,500人
	実績	73,630人	79,030人	12,350人	10,130人	10,600人
	目標比	108.3%	114.5%	94.3%	71.3%	73.1%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	○	△	△
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標の達成状況による				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の取締役会等、経営改善策が講じられる体制を構築 ・辺地債事業による設備改修工事を実施 ・市及び国県の宿泊支援事業を活用 [R1]・辺地債を活用した展望露天風呂の全面改修 [R2]・ホテル総合情報システムの入替により事務を効率化 ・新型コロナウイルスによる来客減の影響を抑えるため一時休業・時短営業を実施 ・ワーケーション用設備の整備を行い、グランピング事業も開始 [R3]・ペーカリーの専門店への業態変更、カフェのリニューアルを実施

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	(株)胎内リゾートによる指定管理を行っているため

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・前年度に続き新型コロナウイルス感染症の増減による影響を大きく受け、消費マインドの回復にも時間がかかることが予想される。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	③	②	②	②
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの収束を見据え、国のキャンペーン等による特需に左右されない確たる顧客戦略を描くことが不可欠である。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
コスト投入の方向性	削減	×	×	×	×
	維持	×	×	×	×
	拡大	×	×	×	×

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330317		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	奥胎内ヒュッテ管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項	01	商工費
				小	17	奥胎内ヒュッテ管理事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市奥胎内野営場宿泊休養施設条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	奥胎内の大自然の立地条件を生かし、大自然を体感できる宿泊施設及び憩いの場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・奥胎内ヒュッテの管理 ・平成22年度より指定管理者制度を導入しており、現在は胎内リゾートに運営を委託（令和2年度から2年間）
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	766	8,022	50,052	1,278	2,263
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	6,300	49,000	0	0
その他	490	490	10	10	10
一般財源	276	1,232	1,042	1,268	2,253
人件費（千円）	442	445	456	455	455
正(h) ※事業費	240	240	240	240	240
会計年度 ※事業任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	1,208	8,467	50,508	1,733	2,718
財源「その他」内訳	敷地使用料10千円				
事業費の主な支出内容	施設改修工事1,006千円、修繕費652千円、家具リース料403千円、共用施設負担金98千円、国有林借地料75千円、火災保険料29千円				
単位コスト	算出方法 総事業費/利用者数 ※工事関係費を除く				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	110円	162円	529円	1,011円	1,133円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	150日	150日	150日	150日	
	実績	107日	154日	158日	165日	156日
成果指標	名称	利用者数	利用者数	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数
	目標	9,000人	9,500人	1,200人	1,300人	1,900人
	実績	6,950人	6,380人	970人	1,200人	1,110人
	目標比	77.2%	67.2%	80.8%	92.3%	58.4%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	△	△	△
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標の達成状況による				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の取締役会等、経営改善施策が講じられる体制を構築 [H30]・奥胎内ダムツアー、奥胎内巨樹巡礼ツアーの商品化 [R1]・辺地債を活用した公衆トイレ新設 [R2]・4階フロアを飯豊連峰登山者を対象に販売開始 ・Wi-Fi設置工事を実施 [R3]・揚水ポンプ故障により改修工事を実施
--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	・(株)胎内リゾートによる指定管理を行っているため

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍によるアウトドア志向の高まりを受け、自然を生かした様々なプランや、奥胎内の魅力を発信し客層を広げていくことが求められる。 ・昨年度より始めた登山者向けフロアの利用がまだ低迷しているため、販売力の強化が求められる。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	③	②	②	②
<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア志向の高まりを受け、ワーケーションを含め、自然を生かした様々なプラン作りの提案により客層を広げていく。 ・利用者を増やすため、SNSなどを用いた奥胎内の魅力を伝える情報発信力の強化を行う。 ・奥胎内ヒュッテのコンセプトであるローコストオペレーションでの運営は軌道に乗しつつあるが、災害等による売上減少もあり、経費の抑制を図りつつ成果を拡充する方向で運営を進めていく。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
コスト投入の方向性	削減	×	×	×	×
	維持	×	×	×	×
	拡大	×	×	×	×

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330318		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者			
事務事業名	クアハウスたいない管理事業			事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	商工費
				小	18	クアハウスたいない管理事業		目	04	クアハウスたいない費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け		任意	関連法規	クアハウスたいない条例		関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度によりクアハウスたいないを運営し、住民および胎内市に訪れる人々の保養と健康増進の場を提供する。
主な実施内容	プール、温泉、トレーニング設備等の管理運営
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	45,292	150,895	38,814	39,128	45,651	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	10,600	113,649	0	0	0	
その他	52	52	76	42	42	
一般財源	34,640	37,194	38,738	39,086	45,609	
人件費（千円）	342	518	530	529	529	
正(h) ※事業費	186	279	279	279	279	
会計年度 ※事業任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	45,634	151,413	39,344	39,657	46,180	
財源「その他」内訳	敷地使用料42千円					
事業費の主な支出内容	運営委託料41,990千円、工事費2,718千円、修繕費663千円など					
単位コスト	算出方法	総事業費÷利用者数 ※工事費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		339円	435円	374円	474円	509円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	354日間	354日間	354日間	355日間	354日間
	実績	354日間	293日間	354日間	330日間	340日間
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	138,000人	140,000人	111,000人	113,000人	115,000人
	実績	102,078人	85,485人	101,570人	80,452人	85,353人
	目標比	74.0%	61.0%	91.5%	71.2%	74.2%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	△	△	○	△	△
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 9月3日～9月16日の14日間、県の新型コロナウイルス感染防止特別警報により休館となった。営業日数が少なかったこともあるが、利用者人数が目標値を大きく下回ったため。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から運営の改善等を図るため毎月1回、指定管理者先の担当者と打合せをしている。 使用料の見直しを図るため令和2年度から利用者と意見交換会を開催している。 令和4年度より条例改正を行い施設使用料金の改定を行った。

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	横中条スイミングスクールによる指定管理を行っているため。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 料金改定に伴い、既存のサービス・施設を維持するとともに、健康増進施設としてのさらなるサービスの向上が求められる。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	⑤	⑤	⑤	⑤
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の満足度を向上させるため、健康増進施設にふさわしい事業等の取組みについて指定管理者と協議する。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330319		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者	
事務事業名	樽ヶ橋遊園運営事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大 33	観光・交流	予算科目	款 07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中 03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項 01	商工費
				小 19	樽ヶ橋遊園運営事業		目 05	樽ヶ橋遊園運営費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	動物愛護管理法			
	法令による義務付け			関連例規	樽ヶ橋遊園条例		関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	約25種類の動物の飼養、施設の運営管理を行い住民および胎内市に訪れる人々に健全な心身の憩いの場と動物とのふれあいの場を提供する。
主な実施内容	約25種類の動物の飼養、施設や遊具等の管理運営、園内の景観整備
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	57,322	174,334	145,808	505,488	169,557	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	44,500	160,300	131,200	480,900	142,700	
その他	13,301	15,454	16,245	11,925	35,504	
一般財源	△ 479	△ 1,420	△ 1,637	12,663	△ 8,647	
人件費（千円）	17,978	17,751	17,184	17,452	18,308	
正(h) ※事業費	8,440	8,409	8,191	8,268	8,644	
会計年度任用(h) ※事業費	2,921	2,520	1,914	1,988	2,147	
総事業費+人件費	75,300	192,085	162,992	522,940	187,865	
財源「その他」内訳	敷地使用料217千円、自動販売機手数料27千円、事業収入35,260千円（入園料、施設使用料、アトラクション体験料、売店販売料）					
事業費の主な支出内容	会計年度給与費11,565千円、需用費7,668千円、工事監理業務委託料5,830千円、その他委託料8,267千円、工事請負費132,068千円、備品購入費2,180千円					
単位コスト	算出方法	入場者1人あたり運営コスト（総事業費※+人件費）/入場者数 ※工事費・設計費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		902円	737円	669円	1,032円	668円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	244日間	244日間	244日間	244日間	244日間
	実績	242日間	243日間	245日間	203日間	244日間
成果指標	名称	入場者数	入場者数	入場者数	入場者数	入場者数
	目標	37,000人	38,000人	37,000人	45,000人	50,000人
	実績	34,140人	43,110人	47,490人	35,498人	74,779人
	目標比	92.2%	113.4%	128.3%	78.8%	149.5%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	◎	◎	△	◎
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 新型コロナウイルスの影響により県外観光地との往来が控えられる中で屋外で適正な距離を保ちながら動物にもふれあえるレジャー施設として新潟市を中心とする近隣市町村から多くの集客を得た。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H29]・大型複合遊具を設置
[H30]・樽ヶ橋遊園休憩所「たるる」新築（H31.3）、新規動物購入
[R1]・ピオトープの整備、カナルの改修、藤棚の改修、いろいろテラス（幼児向け遊具）設置、東屋設置
[R2]・受付ラウンジ、小動物ふれあい舎、ふれあい放牧舎、クマ舎、サル舎の新築
[R3]・第4駐車場整備、鳥舎新築

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	園内整備ボランティア、動物飼育ボランティア

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 施設の大規模改修に応じた効率的な運営体制と必要な人員配置及び育成。 園内での飲食の提供やアトラクション等のサービス提供。 リピーターを増やすための方策の検討。 樽ヶ橋エリア全体での駐車場の確保と混雑解消。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	①	①	①	④	③
樽ヶ橋エリアだけでなく観光の中核を担う施設でもあることから、引き続き事業目的である健全な心身の憩いの場、動物とのふれあいの場を提供するために施設機能の適正な維持管理を行うとともにサービスの向上に努める。					

9 二次評価委員会所見

		今後の方向性			
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	×	×	×
	維持	×	×	×	×
	拡大	×	×	×	×
		コスト投入の方向性			

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330320		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	胎内スキー場管理事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項	01	商工費
				小	20	胎内スキー場管理事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市地域間交流センター条例・胎内市索道事業条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内スキー場を管理し、地域の特性及び資源を活かした雪国の独自性ある交流事業によって魅力ある地域づくりを推進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 胎内スキー場の管理 平成22年度より指定管理者制度を導入しており、現在は胎内リゾートに運営を委託（令和2年度から2年間）
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	114,714	191,456	203,119	32,991	90,022	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	85,700	159,600	177,600	7,700	66,700	
その他	2,260	475	286	698	272	
一般財源	26,754	31,381	25,233	24,593	23,050	
人件費（千円）	221	223	228	227	227	
正(h) ※事業費	120	120	120	120	120	
会計年度 ※事業任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	114,935	191,679	203,347	33,218	90,249	
財源「その他」内訳	辺地対策事業債66,700千円、敷地使用料271千円					
事業費の主な支出内容	施設改修工事64,889千円、修繕費8,771千円、貸付測量申請委託料6,325千円、樹木伐採作業等委託料4,115千円、国有林借地料2,286千円、消耗品費1,379千円、圧雪車始業前整備委託料1,134千円、国設胎内スキー場運営協議会負担金400千円、手数料303千円、火災保険料211千円、土地賃上謝礼100千円、にいがたスキー100年委員会負担金100千円					
単位コスト	算出方法	総事業費÷利用者数 ※工事関係費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		1,188円	618円	52,472円	271円	952円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	90日	90日	80日	80日	80日
	実績	62日	67日	2日	71日	71日
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	55,000人	56,000人	55,000人	55,000人	55,000人
	実績	48,330人	51,466人	480人	70,930人	80,050人
	目標比	87.9%	91.9%	0.9%	129.0%	145.5%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	×	◎	◎
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 成果指標の達成状況による				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 月1回の取締役会等、経営改善施策が講じられる体制を構築 辺地債事業による設備改修工事を実施 [R1]・記録的な暖冬小雪のため、営業は2日間のみ（キッズパークのみ） [R2]・スキー場のクラウドファンディングを実施 ポプラのトイレ非接触化工事を実施 [R3]・ゲレンデの再測量を行い、貸付面積の更新申請を実施
--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	・（株）胎内リゾートによる指定管理を行っているため

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 設備の老朽化が進んでおり、大規模な工事となるため計画的な整備が必要となる。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	③
<ul style="list-style-type: none"> 当初のオープン予定日にほとんど積雪がなく、全エリアの営業開始が2週間程度遅れたため、そのことを踏まえ指定管理者と協議しながら今後の円滑な運営体制を図る。 設備の更新、ゲレンデ等の整備を計画的に進める。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	
--------	--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330322		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	観光交流センター運営事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項	01	商工費
				小	22	観光交流センター運営事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意	関連例規	胎内市観光交流センター条例	関連計画	第2次胎内市観光振興振興ビジョン		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市における観光振興及び地域の活性化、観光事業の拠点となる観光交流センターの維持管理を行う。道の駅として、また樽ヶ橋エリアの観光拠点として、観光案内や観光情報の発信を行う。
主な実施内容	胎内市観光協会を指定管理者として運営委託
実施方法	指定管理

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	40,816	11,770	11,325	11,269	11,500	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	28,900	500	0	0	0	
その他	0	34	0	35	0	
一般財源	11,916	11,236	11,325	11,234	11,500	
人件費（千円）	1,326	1,336	1,367	1,364	1,364	
正(h) ※事業費	720	720	720	720	720	
会計年度 ※事業任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	42,142	13,106	12,692	12,633	12,864	
財源「その他」内訳	委託料 11,000千円 備品購入費 203千円					
事業費の主な支出内容						
単位コスト	算出方法	総事業費/利用者数 ※工事費を除く				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		767円	227円	201円	296円	266円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数	営業日数
	目標	365日間	365日間	366日間	365日間	365日間
	実績	365日間	365日間	342日間	345日間	365日間
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	50,000人	51,000人	51,500人	51,500人	51,500人
	実績	53,170人	49,550人	56,230人	38,130人	50,791人
	目標比	106.3%	97.2%	109.2%	74.0%	98.6%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	○	◎	△	○
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 新潟県民割、stay tainaiキャッシュバックキャンペーンの影響もあり、目標値を概ね達成した。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

樽ヶ橋エリア活性化検討委員会により、進捗管理及び改善策の検討が行われている。 〔R2〕 令和2年度末で樽ヶ橋エリア活性化検討委員会を廃止。検証等が必要な場合は、胎内市観光活性化推進検討委員会で行う。

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	管理運営委託を観光協会にしているため。

7 事業の課題

・SNSを活用した、更なる集客。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	②	②	②
・道の駅の情報発信拠点として、また樽ヶ橋エリアの観光拠点として、胎内市の観光機能としての役割は非常に大きい。 ・観光関連施設が連携したプログラムやイベント等を実施して、訪れる人による消費活動が活発になることで、経済的・社会的効果を高める。 ・様々なSNSを活用、イベントやキャンペーン情報を周知し、若年層・ファミリー層の取り込みを図る。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和3年度事業）

事業コード	330410		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者	
事務事業名	観光振興事業		事業年度	令和3年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大 33 観光・交流	予算科目	款	07 商工費	
主要施策	15	観光・交流	中 04 効果的・効率的な情報発信	項		01 商工費		
			小 10 観光振興事業	目		03 観光費		
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け			任意	関連例規	関連計画		第2次胎内市観光振興ビジョン

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	観光振興ビジョンが掲げる目指すべき観光地「どこにでもある田舎から何度も訪れたくなるふる里へ〜胎内のみんなで旅人をムラビトへ」の実現を図るため、市民を始めとした多様な主体と協働しつつ、観光コンテンツの造成・販売・PRを行う
主な実施内容	観光コンテンツの造成 ○イベント・各種体験プログラムの開催 米粉フェスタinたいない(中止)、胎内スキーカーニバル(中止)胎内温泉まつり(中止)、胎内星まつり(LIVE配信)、中条まつり(中止)、飯豊連峰胎内山開き、柳形山脈山開き など ○施設(44施設) 柳ヶ橋遊園、グリーンハウスたいない、観光交流センター、胎内フラワーパーク、胎内高原ビール園、レクホール、胎内昆虫の家、胎内自然文庫、クレーストーン博士の館、黒川富士文化伝書館、シンクルトン記念館、奥山荘歴史館、駿峰宗文化財取蔵庫、有楽荘、胎内スキー場、ロイヤル胎内パークホテル、奥胎内ヒュッテ、フィッシングパーク、そば処みゆき庵、塩の湯温泉、クアハウスたいない、きのと観光物産館、ポート場、ロイヤルテニスコート、胎内市美術館 など 観光コンテンツの販売・PR いろいろ胎内等紙媒体制作、胎内観光NAV!等WEB媒体の運用、首都圏等商談会でのAGTセールス(中止)、台湾AGTへのトップセールス(中止)、表参道ネオバス等での特産品販売(中止) ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止したものについては「(中止)」を付記しています。
実施方法	市が直接実施+補助・負担

2 事業費の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費(千円)	40,381	45,156	41,978	49,812	51,219	
国・県支出金	0	0	1,000	12,671	14,172	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	40,381	45,156	40,978	37,141	37,047	
人件費(千円)	21,882	17,818	18,230	18,192	18,192	
正(h) ※事業費	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	
※会計年度任用(h) ※事業費	5,040	5,040	5,040	0	0	
総事業費+人件費	62,263	62,974	60,208	68,004	69,411	
財源「その他」内訳	観光協会負担金、胎内市観光振興推進サポーター負担金、印刷製本費					
事業費の主な支出内容	観光協会負担金、胎内市観光振興推進サポーター負担金、印刷製本費					
単位コスト	算出方法	施設・スポット来場者1人あたり運営コスト(総事業費+人件費)÷施設・スポット来場者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		67.9円	71.3円	63.6円	81.5円	75.4円

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数
	目標	①23 ②43	①25 ②43	①23 ②27	①23 ②27	①23 ②27
	実績	①20 ②47	①24 ②44	①285 ②44	①303 ②44	①513 ②44
成果指標	名称	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数
	目標	①127,000人 ②1,001,000人	①129,540人 ②1,021,460人	①128,000人 ②1,000,000人	①128,000人 ②1,000,000人	①128,000人 ②1,000,000人
	実績	①132,967人 ②916,400人	①101,570人 ②883,566人	①126,000人 ②947,360人	①2,436人 ②834,510人	①36,780人 ②920,685人
	目標比	①104% ②91%	①78% ②87%	①98% ②95%	①2% ②83%	①28% ②92%

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	△	△

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

評価の理由	コロナ禍により大規模なイベント等は自粛傾向にあったため、目標の達成には至らなかった。
-------	--

5 改革の実施状況(平成29年度～)

【R1】	・入込客数に重点を置いたイベント中心の施策から、年間を通じた観光関連事業者の売上高にも寄与する施策へと移行 ・開催意義・狙いを改めて再定義しつつ、内容等の充実踏ったうえでのイベント開催 ・市、観光協会、胎内リゾート、観光ボランティアガイド等からなる連携会議を組織し、春夏/秋冬を軸に「イベント」「体験プログラム」「宿泊プラン」「グルメ」といった観光コンテンツを戦略的に造成・販売
【R2】	・各主体をコーディネートする役割を担う「観光振興推進サポーター」の導入 ・コロナ禍においても進行可能な個人向け屋外アクティビティの推進

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	・集落や地域おこし協力隊、観光ボランティアガイドと連携した体験プログラムの提供

7 事業の課題

課題	・胎内リゾートエリアにおける展観施設等との連携強化 ・二次交通の利便性向上 ・観光協会の役割、あり方の見直し
----	--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	③	②	③	③

コロナ禍による行動制限等が徐々に緩和されてきていることから、新しい生活様式に対応した上で胎内市の魅力が伝わる体験プログラムを発信・提供していく。また、変化する観光客の多様なニーズに応じていくべく、宿泊と観光プログラムを合わせた商品の造成や地域資源の有効活用等を目指して観光振興推進サポーターと協力しながら集落や観光関連事業者との連携を図っていく。

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					